社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 広報誌

エルム

vol.74

発行日：令和５年６月１日

編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会　責任者／太田　秀一

HOKUYU INFORMATION

ご挨拶

ワールド・ベースボール・クラシック2023で日本が優勝しました。予選から準決勝までは全試合をテレビで観戦、応援していました。決勝戦だけは私の外来中に行われており、リアルタイムで観られませんでした。外来が終了してからスマホを見ると妻からのラインの通知が『勝ったーー！』と書かれているのを見て「勝ったんだ。」と呟くと、すぐに周りから、勝ちましたよね、と喜びの声が聞こえてきました。みんなチェックしてるじゃん、と思わず笑ってしまいました。昨今は暗くて気分の悪くなるニュースばかり。コロナ蔓延、侵略戦争、それに伴う物価の高騰、アポ電強盗・殺人、枚挙にいとまがありません。当院では物価高騰のあおりを受けて新病院建設費用の増加で計画の縮小を余儀なくされ、新病院建設すら危ぶまれていました。そんな中、史上最強と謳われる選手陣が破竹の勢いで勝ち上がる姿、また最後に大谷翔平選手が継投してトラウト選手を三振に打ち取った瞬間のガッツポーズは、心の奥底にあるモヤモヤしたものを吹き飛ばしてくれました。思い返せば、ラグビーワールドカップ2019のスコットランド戦で稲垣啓太選手がオフロードパスをつないでトライを決めた時も、サッカーワールドカップ2022のスペイン戦で三苫薫選手がゴールラインぎりぎりでパスを上げて逆転ゴールにつなげた時も同じ高揚感でした。今までなら諦めていた相手でも、みんなでパスをつないで勝利を目指して戦えば勝てることを、今どきの若い世代の人たちは証明してくれているのです。これからの病院を支えて下さるであろう世代の職員の皆さま、新入職員の皆さま、そして、少し疲れてきた我々世代の皆さま、現在の当院を取り巻く諸問題も、立ち込める暗雲も、今後の新病院の良い姿を想像して、日々の診療、看護、業務を改めて真摯に行っていこうではありませんか。我々はチームです。皆でつないで勝利を目指して頑張っていきましょう。

副院長　服部　優宏

◆特集

各科 医師のごあいさつ

◆新任医師のご紹介

札幌北楡病院 基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

特集

各科 医師のごあいさつ

外科

後藤　順一

外科は一般外科、消化器外科、血管外科、透析などを中心に幅広く診療を行っています。メンバーは米川元樹、目黒順一、久木田和丘、小野寺一彦、堀江卓、高橋宏明、服部優宏、熱田義顕、後藤順一、谷山宣之、佐藤正法、太田拓児の12名です。大きく透析・血管外科チームと消化器外科チームに分かれて専門的治療を行っております。透析関係ではvascular access(シャント)の作製や修復手術、透析管理を行っており、血管外科ではバイパス、ステント治療など様々な治療を行っております。昨年度から高気圧酸素療法を新たに導入し、おもに慢性下肢虚血の患者さんに治療を開始しております。これにより慢性下肢虚血に対しては手術、ステント、アフェレーシス治療に加え新たな治療法を提示できる体制となりました。消化器外科では佐藤医師が新たに日本内視鏡外科学会技術認定医に合格され、当院の技術認定医が合計3名となりました。市中病院でこの体制は類を見ない厚い体制であり、より高度で安全な医療を提供できると思います。手術支援ロボット(ダビンチ)使用の手術例も徐々に増えてきており、今後もより安全で高度な医療を提供してまいりたいと思います。

肛門外科

小野寺　一彦

肛門外科の外来は常勤１非常勤２の体制で変わりありませんが、手術は昨年から堀江先生、今年から高橋先生にも手伝っていただいてます。

コロナにより通院を控えていた患者さんが最近来院するようになり、以前の所見や症状と比較するわけですが、悪化・不変・軽快があります。内痔核が大きくなっていたり、痔瘻が複雑化していたり、直腸粘膜脱が顕性の直腸脱になったり、中には以前早急に手術が必要と判断されていたのにその必要がなくなっていたりといろいろですが、多くは不変です。

軽快したのは以前の病状が急性のもの（血栓、浮腫、炎症など）でまだ変化していく病態だったのだと思いますが、意外に肛門病変の自然史についての記載や文献はないものです。歯科検診のように詳細に記録されていれば予防法などにも言及されそうなものですが、悲しいかな肛門が出口だったばっかりにそうはならなかったのでしょうか。

ともあれ今年度も関係各位様、よろしくお願い申し上げます。

新年度を迎え、新体制になりました。
各科の医師のご挨拶をお届けいたします。
今年度もよろしくお願いいたします。

腎臓移植外科・泌尿器科

三浦　正義

当科は、腎泌尿器疾患全般および腎移植診療を担当しています。泌尿器疾患診療における特色として、前立腺癌の低侵襲治療であるTULSA（タルサ）治療を2019年に国内で初めて導入しております。また、4月にはMRI融合前立腺針生検システム「KOELIS TRINITY（コエリス トリニティ）」を導入いたしました。高解像度のMRI画像と超音波画像を融合させ、前立腺癌が疑われる部位を３D超音波画像で描出します。これにより、疑わしい場所から正確に組織を採取することが可能になり、がん検出率が向上します。

腎移植診療においては、北海道内7施設、札幌市内4施設のみの腎移植医療機関の一端を担っており、末期腎不全の根治的治療を提供し、医師のみならず移植コーディネーターによる充実したサポートにより安心した診療を受けていただいております。

現在当院では腎臓病総合医療センターを開設し、末期腎不全に対する治療方法の3本柱である腎移植、血液透析、腹膜透析の全てを複数の診療科・多職種連携のもと包括的、かつシームレスに提供できる体制を整備しております。

血液内科

杉田　純一

血液内科は令和5年3月末に小島圭祐、三木康祐、杉村駿介の異動がありましたが新たに3名が加わり、令和5年4月からの病棟診療は杉田純一（平成13年卒）、岡田耕平（平成16年卒）、小笠原励起（平成20年卒）、日高大輔（平成23年卒）、相庭昌之（平成31年卒）、小津峻佑（平成31年卒）、高橋知希（平成31年卒）、野津麟太郎（平成31年卒）の8名が担当しています。外来については、上記メンバーに加えて、副院長の太田秀一先生（平成2年卒）、北海道大学前教授であります今村雅寛先生（昭和48年卒）、小笠原正浩先生（昭和57年卒）小林直樹先生（昭和58年卒）の計12名、さらに北海道大学病院血液内科の医師も出張医に加わり診療を行っています。

札幌北楡病院の血液内科は常時120-130床の入院診療を行っており、全国でも有数の病床数を誇っております。また全室個室であることは入院患者さんのストレス軽減は感染症管理においても大きな利点であり、血液疾患の治療を行う上で非常に良い環境といえます。急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など血液悪性疾患に対する化学療法、同種移植・自家移植など積極的に行っておりますので、今年度もよろしくお願いいたします。

各科 医師のごあいさつ

消化器内科

片桐　雅樹

消化器内科は、消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患を担当しています。

早期胃癌・早期大腸癌に対しての内視鏡的粘膜下層切開剥離術、消化器癌に対する化学療法、炎症性腸疾患に対する血球除去療法などにも対応しています。

また外科治療の適応疾患については外科と密に連携しています。

今年度は、片桐雅樹、野村眞守美、大泉弘子、高野眞寿、佐賀啓良、齋藤雅雄の6名で診療にあたっています。その内、片桐、野村、大泉が入院患者を担当します。日本消化器病学会指導医4名、専門医2名、日本消化器内視鏡学会指導医4名、専門医2名、日本肝臓学会専門医2名で、質の高い医療を目指しています。

なお、診察は予約制で、新患対応は平日午前中とさせていただいております。

また、新型コロナウイルス(COVID-19)の流行のため、内視鏡検査・治療にあたりましては、日本消化器内視鏡学会のガイドラインに沿って、感染対策を行いながら、必要な検査・治療を行っています。

小児思春期科

小林　良二

小児思春期科は2023年も5名の医師が変わらずに診療にあたります。今まで通り、18歳までの主に血液腫瘍性疾患、またそれ以外の疾患も幅広く受け入れております。特に当科の特徴は小児科としていち早く高校生を対象に広げたことです。高校生は病気になって長期入院しなければならない苦痛に加え、授業を受けられないことで留年が迫るという大変な思いをされてきました。当科では北海道に掛け合って道立高校におけるWEBによる授業受講と、それによる単位の取得を文部科学省の補助もあり事業化していただきました。これにより、現在まで12名以上の高校生がこの事業の恩恵を被っており、北海道のこの事業のほとんどは当院の患者さんで占められております。さらに運悪く高校・大学受験の時期に入院せざるを得ない患者さんへのサポートも進めております。病気を克服するのみならず、入院しながらも質の高い生活が出来るようにサポートしてまいります。

整形外科

東　輝彦

常勤医3人体制で診療しております。

慢性疾患の変形性関節症に対しての人工関節置換、骨接には骨接合術、大腰骨頚部骨折に対しては人工骨頭等が主な内容です。

当院の特徴の一つは骨質の非常に脆弱な透析患者さんや、血液内科で治療している骨に病変がある患者さんの骨折や慢性疾患の治療です。時には、腎や骨髄の移植後で免疫抑制剤内服の患者さんの治療も加わります。それには骨の状態の把握、手術方法の選択、リハビリのやり方等に経験が必要です。しばしば、他院より紹介があって対応しています。

一方、開院以来月2回の脊椎外来を担当していただいていた武田直樹先生が令和5年3月でその外来が終了となりました。脊椎専門医不在の整形外科となります。今後、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症等の手術を必要となる進行した状態の患者さんの治療は、他院に紹介となります。

麻酔科・緩和・ペインクリニック科

沼澤　理絵

麻酔科は北大医学部麻酔学教室から高島史樹先生を新たに迎えることになりました。昨年度と同じ2名体制で診療を行います。2022年1月から12月までの全身麻酔手術件数は394件であり、コロナの影響などもあって前年より減少しました。それでも感染対策を十分にとりながら安心して全身麻酔の手術を受けられるようにシステムを構築しています。麻酔の安全性を保つために、術前に麻酔科専門医が診察を行っています。場合によっては前もって麻酔科外来にお越しいただくこともありますので、何卒ご理解の程お願い致します。

麻酔科の業務範囲は非常に広く、手術麻酔の他に救急集中治療や緩和医療、ペインクリニックがあります。緩和医療には特に力を入れており、多職種で緩和ケア病棟およびチーム診療に関わっています。ペインクリニックは毎週水曜日に沼澤が外来診療を行っています。完全予約制となりますが、ペインクリニック専門医として痛みに関する相談を受けていますので、是非ともご利用いただければと思います。

歯　科

加藤　剛士

歯科は常勤医2名と非常勤医3名で診療を行っています。今まで毎週火曜日に北海道大学名誉教授である大畑昇先生に診療していただいていましたが、今年度から月2回（第2、第4火曜日）の診療に変更になります。毎週木曜日は中島利徳先生と町田友梨先生に隔週で来ていただいています。

当科は完全予約制となっています。急患対応等難しい場合もありますが、隙間時間での応急処置対応や、キャンセルによる空き時間での対応が行える場合があります。何かありましたら、まずはご連絡をお願い致します。

本年度も宜しくお願い致します。

消化器内科

大泉　弘子

♬～石橋(胃腸病院)にいるときゃ副院長と呼ばれたの、開成じゃ部長と名乗ってた～♬

北区でひっそりと医師人生を終わらせるつもりが、平成18年(2006年)以来、実に17年振りに白石本店勤務に就くことになってしまい、いささか戸惑っているところです。

目下、電子カルテと悪戦苦闘の毎日で、この原稿が皆様のお目に触れる頃には、デンカル君を何とか使いこなせるようになっていたらなーと願っています。

そんな私ですが、北楡病院のどこに行っても、開成の仲間、以前の北楡の同僚の方々から声を掛けられて、今はそれが何よりの励みになって、持ちこたえております。

これからも、明るさと声の大きさを旗印に、(作り)笑顔で、頑張ります。

新任医師のご紹介

4月から8名の医師が新しく入職しました。よろしくお願いいたします。

消化器内科

齋藤　雅雄

北楡病院との関わりは、平成4年4月北海道大学医学部第3内科を辞し、消化器科部長として赴任した時です。当時は、医師を含めスタッフも少なく、細々とやっている様な状態でしたが、年々医師も増え、内視鏡室の充実も図られ、消化器科として対外的にも認知されるようになりました。前理事長であった川村先生の支援もあったことは言うまでもなく、今でも感謝しています。

このままの状況が続くと思っていた平成17年夏頃、米川理事長より“開成病院に院長として行って欲しい”との内示を受けました。家族とも相談し、考えに考えた上でこれを受諾し、平成17年10月開成病院に院長として赴任しました。

当時開成病院の実情は、大変な状況にあり、暗澹たる気持ちで、また当時の事務長より“現在4億の借金があります、覚えておいて下さい”と言われ、驚愕したのを今でも覚えています。それからは、スタッフと一丸となり、猛烈に働きました。そして、スタッフが働きやすい様に、また患者さんが過ごしやすい様に院内環境を整えました。この時も前理事長の川村先生には無理を言って協力して頂きました。そのこともあり、10年程で借金を返せるまでになりましたが、この頃から医療報酬の改定(改悪？)、外来患者さんの減少(高齢者が多く、亡くなられたり、施設への入所や訪問診療の増加等)に伴い、入院も徐々に少ない状態になり、5年程前より収入が減少傾向へと転じ、特に3年前より顕著になってきました。これに加え、新型コロナウイルスのクラスターがあり、これが決定的な原因ともなり、赤字経営に陥り、診療休止となりました。これについて私としては、忸怩たる思いがあり、職員の皆さんには申し訳ない思いがあります。

現在、米川先生の御高配を頂き、この4月より当院で働かせて頂くことになりました。できるだけ健康に気を付け、慣れない電子カルテに戸惑いつつも職員の方々にサポート頂き、早く慣れて一生懸命頑張りたいと思います。

宜しくお願い致します。

外 科

太田　拓児

4月より入職しました外科の太田拓児です。2012年卒の医師11年目になります。臨床研修修了後は道内の中核病院で研鑽を積んで参りました。昨年度は北海道大学病院消化器外科Ⅰで肝移植の研究と臨床に従事しておりました。当院では、消化器外科に加え透析診療にも携わることができ大変光栄であります。

北海道は外科診療科で透析管理を行う病院が多く、私が所属する医局関連施設も地域の透析診療を支えております。諸先輩方が築いてきた腎不全外科分野の造詣を深めることで、地域医療に貢献できる力と考えております。安心、安全をモットーに患者さんのお力になれるように努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

麻酔科

高島　史樹

この度は麻酔科に赴任させていただきました高島史樹と申します。これまでは北海道大学病院、函館中央病院と勤務してまいりました。函館が５年間と非常に長かったのですが、地元が新札幌であり今回帰ってこられたことを嬉しく思います。仕事では手術麻酔と集中治療を主にやってまいりました。小児、産科や心臓麻酔が得意分野ではあったのですが、北楡病院では透析患者さんの麻酔も多いとのことで多くを学ばせていただきたいと考えております。また今後は緩和ケア病棟を有する北楡病院に来させていただいたからには緩和ケア領域なども少しずつ勉強させていただければと思っております。

プライベートでは野球部であったこともあり、野球観戦とカメラを趣味としています。週末には１歳児（男の子）、３歳児（女の子）を連れて函館市内をカメラ撮影に出掛けておりました。同じ趣味の方がいらっしゃいましたら気軽に声をかけてください。せっかく札幌に来たからには、子供たちを連れて是非ともエスコンフィールドにもぜひ行ってみたいと考えております。今後、多方面にご迷惑をおかけするとは思いますが少しでも病院のお力になれるように尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

血液内科

相庭　昌之

本年度より血液内科医として北楡病院へ赴任させていただきました、医師5年目の相庭と申します。出身は北海道の小樽市で、出身大学は北海道大学です。小学校のころから硬式テニスをしており、大学時代は硬式テニス部に所属しておりました。趣味は鉄道、旅行、ドライブで、大学時代は国内や海外の一人旅によく出ていました。

抗がん剤だけで治癒が期待できるという点に魅力を感じたことがきっかけで血液内科に魅力を感じ、２年間の初期研修を函館で過ごしたのちに北海道大学病院血液内科に入局いたしました。３年目は札幌で、４年目は釧路での勤務をへて、５年目として当院に赴任いたしました。現在は同種移植、自家移植をはじめ、血液悪性疾患への化学療法など血液内科診療全般を担当させていただいております。移植は完治が期待できる一方で合併症のリスクもある治療であるため、看護師や栄養士、リハビリ技師、ソーシャルワーカーをはじめ多職種のサポートが不可欠となります。チーム内での連携を大事にしながら、一人一人にあった治療を、皆さんに安心して受けていただけるよう努めてまいりたいと思います。まだまだ若輩者でご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

血液内科

小津　峻佑

令和5年度から血液内科に赴任させて頂きました小津峻佑と申します。医師になり、5年目となりました。出身は三重県で大学進学を機に北海道に移り、現在に至ります。初期研修は2年間、市立札幌病院で行い、医師3、4年目の2年間、帯広厚生病院で勤務しました。食べることが好きで、三重県も美味しいものが多かったですが、北海道も美味しいものが多く、体重は増えるばかりです。初期研修で札幌にいた際はコロナの影響で外出を控えていましたが、コロナも落ち着いてきた印象があるので、時間がある時は食べ歩きなどをできればと思っています。帯広では体重が5kgぐらい増えたので、運動をしつつ、食を楽しみたいです。

札幌北揄病院は多くの造血幹細胞移植を行っており、今までとは異なった環境ですが、皆様により良い医療を提供できるように精進していきたいと思っています。まだまだ経験が浅く、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

新任医師のご紹介

血液内科

高橋　知希

2023年度より札幌北楡病院 血液内科として着任します、医師5年目の高橋知希と申します。

出身は札幌で、旭川・北見での勤務を経て今年度はこちらの札幌北楡病院にて勤務することとなりました。札幌北楡病院は造血幹細胞移植を含め数多くの血液内科症例が集まる病院であり、血液内科としてはまだ3年目で未熟な部分も多いため不安も多くありますが、精一杯皆様のお力になれるよう努力していく所存でございますので何卒よろしくお願いいたします。

また久しぶりの札幌での勤務ということでここ数年で変化した札幌の街も楽しみたいと思います。また趣味というほどではございませんが、ドライブは比較的好きなので余暇は札幌近郊まで足を伸ばせればと考えておりますので何かおすすめ等あればぜひ教えてください。

改めまして、自分自身至らない部分ばかりでご迷惑おかけすることも多々あるかと思いますが、引き続きご指導・ご鞭撻の程何卒よろしくお願いいたします。

研修医

藤島　京祐

私は本年4月より研修医として札幌北楡病院に勤務させていただいております、藤島京祐と申します。3月に北海道大学医学部医学科を卒業し北海道大学病院にて初期臨床研修を行う一環として、そのはじめの1年を北楡病院にお邪魔させていただくこととなりました。

大学生という身分を離れ医師として実際の医療現場に参加することにはまだ多少の緊張感が伴いますが、少しでも早く医師として求められる役割を担うべく、現在微力ながら日々の学習に力を尽くしている毎日であります。大学時代は研究活動に取り組んでおりましたが、現場で働く医師の仕事というものは研究とはまた違う難しさとやりがいがあるように感じられます。

初めて医師として医療に携わる身には体験する何もかもが新鮮に映りますが、とりわけ北楡病院の様々な病状の患者様を受け入れ、その全てに対して適切かつ高度な治療を施していく様は、研修医として学ぶ上での大きな刺激となっております。このような恵まれた環境で研修医として重要この上ない１年間を過ごすことができることを感謝するとともに、少しでも多くのことをこの研修で学び取ることができるよう、努力してまいりたい所存であります。

外来診察担当一覧

午前　午後

（令和５年６月１日現在）

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科 緩和ケア内科	太田 小笠原(正) 小笠原(励) 相庭	小林 今村 日高	小林 今村 杉田 小島	岡田 高橋 小島 【SO外来】 小林 (15:00～16:00) (完全予約制)	小林 小笠原(正) 岡田 宮下	太田 今村 宮下	太田 小林 日高 荒	杉田 小津 荒	小林 小笠原(正) 岡田 杉田	今村 小笠原(励) 野津	交替医師
消化器内科 (予約診療) 午前のみ 新患可	片桐 佐賀	大泉 (15:30まで)	佐賀 大泉	高野 齋藤	齋藤 大泉/佐賀 (隔週交代)	片桐 【肝専門外来】 須田 (13:30～14:30)	高野 野村	片桐 齋藤	片桐 高野	野村 佐賀	
糖尿病代謝内科					※1澤村		※1澤村		澤村		
循環器内科					交替医師		交替医師				
外科	米川 (隔週) 後藤	目黒	服部 (隔週) 太田	佐藤/太田 (隔週交代) 久木田	目黒 服部	堀江 【フットケア外来】 (13:30～16:00) (完全予約制)	堀江 高橋	高橋	久木田 佐藤	堀江 佐藤 (隔週)	交替医師
血管外科 6/1より 診察枠追加	熱田(隔週)		6/1～ 熱田(隔週)								
肛門外科	小野寺		山内		宮下		小野寺		山内		交替医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30～) (予約診療) 東山(午前のみ予約診療)				東山 (予約診療)		三浦(9:30～) (予約診療) 東山		東山 (予約診療)		
腎臓内科	山田						山田				
整形外科	高橋 大野		東 大野		高橋		東 大野		東 高橋		
小児 思春期科	小林(良)	堀	佐野	堀	柳	大島 佐野	【血液外来】 小林(良) (完全予約制)		松島 小林(良)	柳 【血液外来】 ※2小林(良) (完全予約制)	交替医師
スリープ外来			高橋								
ペインクリニック・麻酔科外来 (完全予約制)					沼澤						
禁煙外来 (完全予約制)		三浦									
歯科 (完全予約制)	加藤／高橋		加藤／高橋／大畑(第2・4週のみ)		加藤／高橋		加藤／高橋／北大医師		加藤／高橋		

※１　糖尿病代謝内科：第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。
※２　金曜日午後の小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオピニオン外来」も併せて担当しております。
◇　都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

外来予約電話受付
【平日のみ】午前９時00分～ 12時00分／午後13時30分～ 16時00分
予約専用電話　TEL 011-865-0201

歯科予約
【月・火・木・金】午前９時00分～ 11時30分／午後13時30分～ 16時30分
【水・土】　午前９時00分～ 11時30分
TEL 011-865-8800(歯科直通)

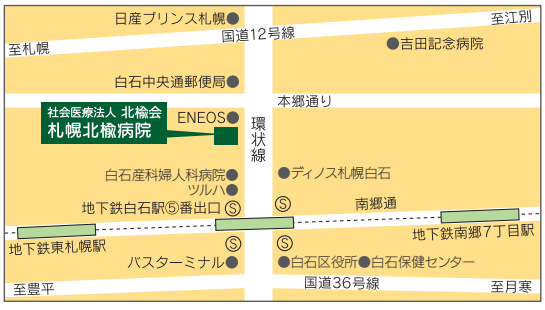
編集後記

広報誌エルムをご覧いただきありがとうございます。雪解けも終わり、春になりました。あっという間に夏が来そうですので、衣替えを始めないといけませんね 皆様体調に気を付けてお過ごしください。　（A・K）

社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院

診療科目
外科・消化器外科・血管外科・肛門外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住　所　札幌市白石区東札幌６条６丁目５番１号
TEL：(011) 865−0111　FAX：(011) 865−9634

交　通　地下鉄白石駅５番出口から環状通り　北の方へ徒歩５分左手

ホームページ　https://www.hokuyu-aoth.org/